

パリ DAC 通信(紛争と脆弱に関する国際ネットワーク～INCAF の立ち上げ)

DAC は、2008年12月に紛争と脆弱に関する国際ネットワーク(INCAF: International Network on Conflict and Fragility)を立ち上げました。

■全世界の人口のうち約10億人は脆弱な国家に

全世界の人口のうち約10億人は、政権の正当性が弱かったり、制度面の能力の弱さや頻繁に生じる暴力、過去における深刻な対立の後遺症などの問題に直面しているとされる「脆弱な国家」に居住しています。「脆弱な国家」は往々にして経済的にも非常に脆弱であり、国民の3分の1は1日1ドル以下で生活し、また乳幼児死亡率や妊娠・出産における母体の致死率もこれらの国では高くなっています。

■5カ国に集中する「脆弱な国家」への ODA

「脆弱な国家」への ODA は、2006年には約270億ドルと、全体の約4分の1を占めています。また、38カ国あるとされる「脆弱な国家」の中でも、ナイジェリア、アフガニスタン、スーダン、コンゴ民主共和国、カメルーンの5カ国が「脆弱な国家」への ODA の75%を受け取るなど、特定の国に ODA が集中する傾向があります。

■「紛争」と「脆弱な国家」に対する DAC の取り組み

DAC では、これまで「脆弱な国家」特有の背景を理解し、通常の途上国以上に相手国のオーナーシップや独自の制度を損なわないように注意し、また外交・開発・国防の関係者が協調して支援を推進すべきとの考え方のもと、「紛争」と「脆弱な国家」に関する別々のグループがそれぞれ、紛争ガイドダンスや暴力紛争の予防に関する政策の原則、脆弱な国家における国家建設や治安システム改革のガイドダンス作成などに取り組んできました。

■援助だけでない包括的でシームレスな取組を議論する INCAF

こうした中、今般「紛争」と「脆弱な国家」に関するグループを統合して新たに INCAF が立ち上げられ、紛争予防から開発までシームレスな、また援助だけでない包括的な取組を議論する場が設けられることとなりました。INCAF は、「脆弱な国家」支援原則の実際の適用におけるモニタリングや、非 OECD 諸国へのアウトリーチ活動から取り組みを始めることが予定されています。

また、INCAF とともに、「脆弱な国家」自体も参加して議論する「平和構築と国家建設に関する国際対話」もフランスとコンゴ民主共和国により立ち上げられ、INCAF との協調が予定されています。